

本学協定校マレーシア工科大学の22人の学部生が Global Outreach Program2012 で本学を訪問

4月11日、協定校であるマレーシア工科大学の学部2年生22人が本学を訪問しました。本訪問はマレーシア工科大学のアカデミックプログラム Global Outreach Program 教育の一環として行われ、日本の大学や企業を訪れ見聞を広げると同時に、国際的な視点を身につけ勉学に励むという趣旨で開催されています。今回は、特に優れた文化と高度先端技術をもつ日本が訪問先として選ばれ、長年交流の深いに明治大学を訪問することとなりました。

引率は本学大学院理工学研究科で博士号を取得した Dr. Hamimah binti Abas UTM 専任講師が行い、当日午前中は国際連携事務室の案内で駿河台本校舎にある博物館や図書館を見学し、午後は生田校舎へ移動し、理工学部電気電子生命学科の3研究室（関根研究室、小椋研究室、小野研究室）を訪問しました。また堀江正彦特任教授（前マレーシア大使）と小野治理工学部教授の司会のもと本学で勉学に励んでいるマレーシアからの留学生との懇談会が行われました。翌日は日本文化に触れる浅草寺や隅田川のクルーズを楽しみました。



(隅田川、日の出棧橋にて)